

# 謹賀新年



## 新市発展のカギは 周辺部の活性化

天草市長  
安田 公寛

新年おめでとうございます。平成20年の初春をご家族おそろいで健やかに迎えのことと、心からお喜びを申し上げます。

天草市が誕生して、この3月で丸2年になります。私はこれまで、合併の成否は周辺部の活性化いかんにかかっていると申し上げてきました。このため、市議会のご審議を経て昨年策定しました第1次天草市総合計画に基づき、第1次産業などの地場産業の育成・支援をはじめ、都市と農山漁村共生・対流事業

などの実施による交流人口の増加支援、企業誘致などを図ることで、地域振興にさらに取り組んでまいります。

一方、市民の皆様方には、地域のことは自らが決め運営していく、いわゆる住民自治の意識を持って、自立していただくことが必要であると訴えてきました。そのためには行政も必要な情報はきっちりお伝えし、支援していくことが欠かせません。このため、市内全域の公共施設を光ケーブルで結ぶ、情報通信網の整備に今年度から取り組んでおり、この広域ネットワークを将来はさらに充実させ、地域の情報化に結び付けてまいりますと考えています。

新市の数多い課題を一つひとつ解決しながら、市民と行政が協働でつくる「日本の宝島」の実現に向けて全力を傾注してまいりますので、なお一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。市民の皆様方にとりまして本年が幸多い年となりますようお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

## 天草市の 発展に向けて

天草市議会議員  
宮下 重康

明けましておめでとうございます。

平成20年の輝かしい新春を迎えるにあたり、市議会を代表して、謹んでごあいさつを申し上げます。また、旧年中、市議会の諸活動に対し、深いご理解とご支援を賜り、心からお礼を申し上げます。

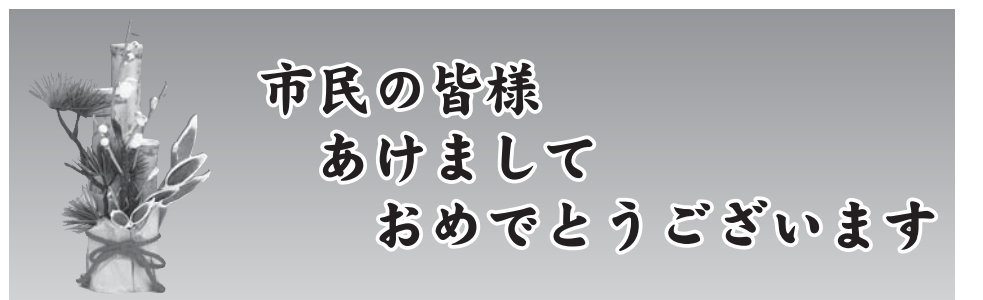
天草市の誕生からやがて2年、昨年の第2回市議会定例会において第1次天草市総合計画が可決され、長期的、巨視的視野に立ったまちづくりが始動いたしました。また、男女共同参画宣言都市の仲間

入りや行政改革の推進、あるいは地区振興会の活発なまちづくり事業の展開など、新市の基盤づくりも着々と進められています。

しかしながら、国の三位一体改革による地方交付税の削減等により、市の財政状況は引き続き厳しい状況にあり、加えて、少子高齢化対策や雇用拡大、交通網の整備・確保、春先に頻発した原因不明の光化学スモッグへの対応等、難題、課題が山積しております。また、平成の大合併が一段落しつつある現在、さらに、「道」「州」といった新たな広域行政単位による道州制の導入が論議されており、このような動きからも決して目を離しません。

私たち市議会は、皆様の負託を受けた市民の代表者としての責務の重大さを自覚し、明日の天草市の発展のために、今後とも渾身で取り組んでまいります。市民の皆様には、本年も、昨年に変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。

— 竜洞山展望台付近からの眺望 (12月9日撮影) —



天草市役所  
市長 安田 公寛  
副市長 吉添 圭介  
天草市議会  
議長 宮下 重康  
副議長 田中 茂

- 議員
- 池田 次人
  - 北野 鋼一
  - 濱 廣昭
  - 藤崎 正博
  - 濱崎 昭臣
  - 江浦 政巳
  - 吉川 徳澄
  - 本田 武志
  - 大塚 基生
  - 平石 水穂
  - 楠本 千秋
  - 中村 五木
  - 平山 泰司
  - 脇島 義純
  - 池田 裕之
  - 松江 雅輝
  - 赤木 武男
  - 鎗光 秀孝
  - 中村 三千人
  - 船辺 修
  - 蓮池 良正
  - 若山 敬介
  - 勝木 幸生
  - 宮下 幸一郎
  - 中尾 友二
  - 古賀 源一郎
  - 野嶋 健一
  - 浜崎 義昭